

# ネピアアテンダー ケア通信 Vol.18

発行元: 王子ネピア株式会社  
ケアサポート事業本部  
東京都中央区銀座5-12-8  
王子ホールディングス 1号館  
編集・制作: 株式会社ジェイ・キャスト  
発行人: 取締役 ケアサポート事業本部長 山下千晶  
発行日: 平成29年3月15日



## 介護業界の現在

### 情報共有技術で在宅医療・介護 医療との連携で介護職がレベルアップ

千葉県柏市では質の高い在宅医療・介護を推進する試みが行われている。多職種が関係するとき重要になるのは、患者情報の共有である。それを可能にする情報システムを開発したカナミックネットワーク社長・山本拓真氏に導入メリットなどを聞いた。



(株)カナミックネットワーク 代表取締役社長 山本 拓真(やまもと・たくま)氏

富士通システムソリューションズ(現富士通)をへて、カナミックネットワーク入社。平成23年、東京大学高齢社会総合研究機構共同研究研究員に。26年より現職。

山本氏らが開発した多職種の情報共有システムとはこんなイメージだ。在宅医療・介護をする場合、医療職、介護職、リハビリ職、管理栄養士など多職種のスタッフが関わるが、それぞれが患者に接したとき、状況を端末で記録していく。患者に関わるスタッフならば、その情報にいつでもアクセスできるため、患者と数週間会わなくても、最新の状態を踏まえた上で対応できるわけだ。従来ならば大量の紙の資料が必要だったが、このシステムならタブレット端末一つで事足りる。例えば薬の副作用に気づくのは、頻繁に接している看護・介護職である。従来の介護ノートによる伝言では、医師が副作用に気づくのは2週間以上先になる場合が多かった。しかしこのシステムならば、アラーム機能で、



提供: カナミックネットワーク

医師に緊急通知できる。自分の通知が「既読」になったかを確かめられるため行き違いはない。「医師が早期介入できま

すから、症状が悪化するのを防ぐし、状態が改善しサービスに通えるようになる人もいる。するとご家族の負担も軽くなります」さらに介護職のやりがいにもつながるとい

「自分の気づいた点が患者さんの改善につながるからです。医師や看護師などごやりとりすることで、介護職も違った視点を持って介護に当たることができ、レベルアップできるのがよい点です」

情報共有によって、個人だけの知識「個人知」を、「集団知」にできるため、全体の底上げにつながるという。「突出した1人の在宅医療だけで地域全体の在宅医療を担うのは難しい。医師会全体で地域を支え、情報システムを活用して多職種が連携し、力を合わせることで医師会幹部は話して

ました」 「介護職の方が医療に敷居の高さを感じていた

り、医師が介護職の仕事内容を知らなかったりした。でも研修などで頻回に交流する過程で互いの仕事を理解するようになり、チームワークがよくなりました」

このシステムを使って

「最初はチャットのような形で情報交換したが、報告文が長すぎて、重要な情報が伝わりにくいことが判明。情報を重要項目ごとに整理して、重要性を実現しました」

ただ、医療と介護の連携は最初からうまくいったわけではない。

「介護職の方が医療に敷居の高さを感じていた

り、医師が介護職の仕事内容を知らなかったりした。でも研修などで頻回に交流する過程で互いの仕事を理解するようになり、チームワークがよくなりました」

このシステムを使って

「在宅医療・介護をする場合、医療職、介護職、リハビリ職、管理栄養士など多職種のスタッフが関わるが、それぞれが患者に接したとき、状況を端末で記録していく。患者に関わるスタッフならば、その情報にいつでもアクセスできるため、患者と数週間会わなくても、最新の状態を踏まえた上で対応できるわけだ。

「在宅医療・介護をする場合、医療職、介護職、リハビリ職、管理栄養士など多職種のスタッフが関わるが、それぞれが患者に接したとき、状況を端末で記録していく。患者に関わるスタッフならば、その情報にいつでもアクセスできるため、患者と数週間会わなくても、最新の状態を踏まえた上で対応できるわけだ。



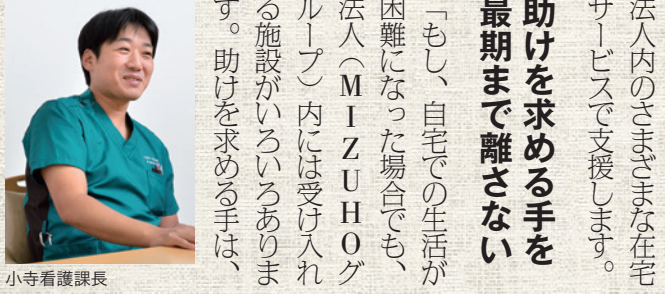
清藤施設長

住み慣れた自宅や地域ですっと生活したい。そんな願いを叶えたいと老健「志木瑞穂の里」では、ご利用者の自立支援に力を入れています。

職員はその気持ちで自立支援をしています」と、施設長で医師の清藤さん。

「私たちが主体的に考えた自立支援によって、帰宅が難しいと思われるご利用者様が家に帰ることができると、老健の本来の目的を達成できたことになり。ご本人も家族もすごく喜んでくれ、そこで初めて私たちが喜べる。やりがいになります。自立支援は発展途上であるべきことは多いのですが」と話します。

「在宅強化型老健をめざしています。老健らしい仕事をきちんとすることでしか実現できませんが、目標を立ててみんなで取り組んでいます」と施設長。研修や打ち合わせを重ねることで、チームは連携を強めながら一歩ずつ前進しています。



小寺看護課長

「も、自宅での生活が困難になった場合でも、法人(MIZUHOグループ)内には受け入れられる施設がいろいろあります。助けを求めるとは、



スタッフの皆さんと

こんにちは、ネピアです。職場のお話、聞かせてください。  
自立支援で当たり前前の生活に  
◎介護老人保健施設 志木瑞穂の里(埼玉県志木市)  
施設長・医師 介護支援専門員 清藤大輔さん/看護課長 小寺康之さん

### 注目のトピックス

- 貧困、育児、介護などワンストップ窓口を整備  
厚生労働省は、育児や介護の悩みなど日常生活の困り事に対する相談窓口を、2017年度から全国に100カ所整備する。必要なサービスに横断的につなげる支援拠点づくりを行う。厚生労働省が目標とする「地域共生社会」の構築の一環。  
2017/2/22 毎日新聞
- 政府、介護保険法の改正案を閣議決定  
政府は7日、介護保険関連法の改正案を閣議決定。改正案の柱は、現役並みに所得がある高齢者の介護サービスの自己負担を3割に引き上げることなど。今通常国会での早期の成立をめざす。  
2017/2/8 ケアマネタイムス

## 脳のアンチエイジング

### 漢字分解テストにチャレンジ!

問題 下記の青色の文字は、漢字4文字を分解したものです。何と書いてあるのか、解いてみましょう。

夕人玉 我示 言 冂

回答 賢者楽国



# 3世代に受け継がれる福祉の心

## 介護の未来を考える



敬老祝賀会で場を盛り上げる中社前理事長

山内 私は中社前理事長と28年を共にしました。現場をよく見て、10年後の老人福祉を見据えた施

### 1993年から地域包括ケアを先行

清水 福祉とは何か。子どもの頃から身をもって知ったことが、生き方を決めたと、著書『福祉の原点を問う』に詳述されており感動しました。

山内 1995年の阪神・淡路大震災のとき、高齢者ケアセンターがた前の道路を挟んで向こうは猛火の海でした。先代は避難所で衰弱していくお年寄りを救うため、獅子奮迅の働きで多くの人を助けました。

清水 中社さんの働きは何度もマスコミで報道されて、有名になりました。山内 先代は大震災で燃える神戸の街からお年寄りを救い出しては自宅に連れ帰った父上のお気持ちを実感されています。また、助けたくても制度の壁に阻まれて悔しい経験をしたため、以前から訴えていた介護サービスを選べる介護保険制度成立に向けてすごい勢いで働きかけたのです。

大和田 父は時代の先を讀む力があつたのだと思います。地域包括ケアが言われる15年前から取り組んでいました。

清水 日本福祉の在り方を問い続ける中社さんは、介護保険制度創設に大きな貢献をされました。介護付き有料老人ホーム「グランドビュー甲南」はどんな経緯で？

山内 山の手を暮らしてきた方たちのニーズに応えたのです。独立した2部屋を設け、夫婦、きょうだい、親子でも入居できます。ただ、どの施設

も、ご入所者にとっては生活の場です。生活保護を受けている方もそうでない方も、その人らしく生活していただくために提供する介護サービスは一流であること。それが先代の方針でした。

中社前理事長の遺志を継いでいく

大和田 さまままなアイデアを思いつき、実現してきた父ですが、文書で残したものがなかったの

余命宣告を受けていたので、口述筆記の形でした。清水 福祉の名著だと思

大和田 父は余命宣告を受けた後、私たち3姉妹にこう話しました。「三段ロケットに変更しよう。理念を引き継ぎ、自分たちの方法で月に行け。小さいときに子どもの素直な心で入居者に教わったことがたくさんある

ろ。教えてくれる職員がいるやろ。相談できる人もいるやろ。大丈夫」。祖父から父へ受け継がれた福祉の理念は、私たち世代が引き継いでいきます。

清水 福に生きて善を積み、いい言葉です。

大和田 父は余命宣告を受けた後、私たち3姉妹にこう話しました。「三段ロケットに変更しよう。理念を引き継ぎ、自分たちの方法で月に行け。小さいときに子どもの素直な心で入居者に教わったことがたくさんある

ろ。教えてくれる職員がいるやろ。相談できる人もいるやろ。大丈夫」。祖父から父へ受け継がれた福祉の理念は、私たち世代が引き継いでいきます。

清水 福に生きて善を積み、いい言葉です。

大和田 父は余命宣告を受けた後、私たち3姉妹にこう話しました。「三段ロケットに変更しよう。理念を引き継ぎ、自分たちの方法で月に行け。小さいときに子どもの素直な心で入居者に教わったことがたくさんある

ろ。教えてくれる職員がいるやろ。相談できる人もいるやろ。大丈夫」。祖父から父へ受け継がれた福祉の理念は、私たち世代が引き継いでいきます。



中社直行著『いま、福祉の原点を問う—養老院の子の歩んだ道』老人福祉に生きた中社直行氏の自叙伝。掲載された11編の寄稿は社会事業家としての特質を浮き彫りにしている。福祉に携わる人はぜひ一読を。



社会福祉法人神戸福生会 高齢者ケアセンターながた/ながたサテライト宮丘施設長 山内 賢治氏



社会福祉法人神戸福生会 理事長 大和田 理紗氏



王子ネピア株式会社 代表取締役社長 清水 紀暁氏

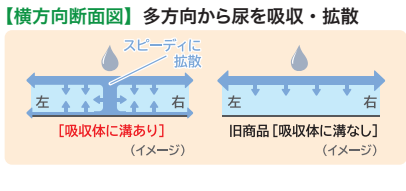
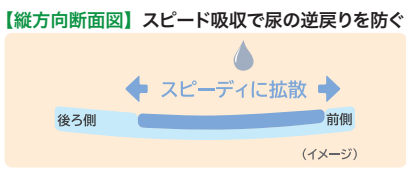
## テnderサポート便り vol.9

### 高い吸収性のパッド エクストラ600SP・800SP

大容量パッドには、尿をしっかり吸収することが求められます。トップレベルの吸収性と使いやすさを持つネピアテnder商品のポイントを紹介いたします。高性能の秘密は「スピード吸水構造」です。吸収体に溝があることから、溝の側面や下側の吸収体にもすばやく尿が回りこみ、多方向から尿を吸収します。同時に、尿を広範囲に拡散させることで、モレにつながりやすい逆戻りをしっかりブロック。2回目以降の排尿や長時間使用の際にも、おしりはサラサラ快適で、夜間も安心しておやすみいただけます。また、パッドを当てる際には、吸収体の溝を尿道口にフィットさせやすく、装着時の不快感を軽減します。介護者さまから「パッド全体で尿を吸収して良い」「サラサラしてべたつきがない」「フィットして股のモコモコ感がない」「股部がスッキリして当てやすい」といったお声をいただいております。エクストラ600SPは、目安吸収量600ml、長さ61cm。おしりにぴったりフィットするひょうたん型です。エクストラ800SPは、目安吸収量800ml、長さ66cm。エクストラ600SPより5cm長いので、背モレを気にされる方にも安心の縦長仕様です。ネピアテnderでは、吸収スピードの実験を実際にご覧いただいております。お気軽にお申し付けください。



吸収体につくられた溝が性能をアップ。「吸収スピード」「逆戻り効果」もハイレベル。2回目以降の排尿や長時間使用してもおしりはサラサラ快適です。



### 牧野流 プチヨガ

長時間の作業などで丸くなりがちな背筋を、背中や胸をほぐすことで、正しい姿勢を保ち、肩凝りや背中の張りを防ぎましょう。

**A 背中を手をつなぐ** 背筋を伸ばし右手を上げ、ひじを曲げ頭の後ろに、左手でひじを下方に押しします。

**B 腕を組む** 右腕を体の前で縦に直角に曲げ下から左腕を絡ませて両手の平を合わせます。このまま胸全体を意識して呼吸を3回、組んだ腕を前に出したり、上げたり。左腕も同様に3セット繰り返します。胸をほぐすと呼吸も深くなり、体内に酸素が多く取り込めます。

次に左手を下ろして内旋し右手とつなぎ3呼吸。反対側も同様に、3セットします。背中、肩がほぐれ背筋が伸びましたか？ 届かないときは、タオルを使いましょう。

### 新たに発足した広域法人部です！

ケアサポート事業本部 広域法人部

広域法人部は、広域にまたがる医療法人様、有料老人ホーム様、グループホーム様を中心に訪問させていただき、介護現場でご利用者様、スタッフの方々が快適に過ごせるように家庭紙から紙おむつまで身の回り品のご提案をさせていただきます。ぜひ私たちにお声掛けください。今後ともよろしくお願いいたします。